

北九州憲法ネットニュース

発行 九条の会・北九州憲法ネット 2008年4月5日 第29号

Tel & fax 591-5522

803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F

E-mail⇒mail@kitaq-kenpou.net URL⇒http://kitaq-kenpou.net/

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

9団体から参加 楽しいアクションの報告も!

第6回目となる「地域九条の会・憲法運動団体交流会」が、3月6日に生涯学習総合センターで開かれました。9団体13人の参加で、内容のある交流会となりました。

司会は三輪俊和憲法ネット副座長が担当。冒頭、荒牧啓一憲法ネット座長が交流会の呼びかけ団体としての開会挨拶を行いました。

交流の1番手は、昨年11月に発足した「**北九州市役所女性九条の会**」の堀田満洲子さんです。2月22日にレインボープラザで行った“春をよぶつどい”を開き、80名が参加。ここでは、「平和でなければおしゃれものしめない」ということで、古布をアレンジした衣装でのファッションショーで楽しく盛り上がったこと、講演は高木佳世子弁護士で、しっかり学習したことなどが報告されました。

「**こうじゃく地域九条の会**」の木村玲子さんからは、「魅力ある例会づくりに挑戦」している報告がありました。ここでは、毎月第2水曜日に例会を開き、すでに34回開催しています。休まず、続けることを貫いています。憲法に関する、様々な意見を出し合い、公明党の市議も招いて話を聞きます。例会案内のピラを作り、会員に手渡していきます。2月の寒い日も例会は開かれています。

「**学生九条の会(北九州大)**」の植西あすみさんは、学生の憲法をめぐる交流の場づくりの報告をしました。福岡市で始まった、学生の交流は、北九州でも行われ、女性弁護士や大学教員の協力で、北九大、国際大の学生が参加してきていること、今後、市内のほかの大学への呼びかけが行われる予定です。

「**憲法9条を守る折尾の会**」の野口千恵子さんは、毎月、駅前での宣伝を続けていること、ニュースの発行、ミニ学習会などを行っているが、中々むずかしいと話しました。しかし、署名・宣伝行動をしていると、勉強にもなるといいます。宣伝をしていると、突如、中年の男性が近寄り、「原稿



を読んで話してもだめ、気持ちが伝わらない」と指摘されました。今では原稿を見ないで喋れるようになりました。行動への参加者をどう増やすかが、当面の課題だといいます。3月9日に総会を開きます。

「**小倉南区西部地域九条の会**」の清水隆さんは、06年には、辻々に立つてのスポット演説を行っていたが、効果的でなかった。昨年からは、“ピースウオーク”で、町内を練り歩くことをしていると話します。月に1回定例化し、小学生なども飛び入り参加するときもあるとのこと。学習会を開催し、会員の参加を目指していますが、会場を探すのが大変だと言います。ニュースも隔月に出しています。

「**曾根9条の会**」の石井さんは、月2回の世話人会で、6人が参加し、情勢などの学習を続けている。9の日には、街頭演説・署名もするが、参加者が増えず、特に女性の参加を期待していると話していました。

「**八幡東九条の会**」の島崎義廣さんは、会結成2周年を迎える今年の6月を目途に、署名3000筆を達成する決意を語りました。現在、1604筆、350所帯の会員宅に署名用紙を届け、協力を要請する運動を行っています。署名を東京にもって行き、会としての国会請願行動も行うことにしています。

「**北九州憲法ネット**」からは、野瀬秀洋事務局長が、

最近の取り組みなどを報告しました。

①憲法改悪反対北九州共同センターの動き②憲法意見広告の取り組み③憲法講師団編成の報告④憲法ネット年次総会（8月2日・会場小倉北ムーブ）の企画などです。

特に、「憲法講師団」については、今後、各九

条の会の学習会に是非、利用してほしいことを訴えました。（利用方法などは憲法ネット事務局に問い合わせください）

最後に、今後も、小学校区ごとの九条の会をつくり、活動の水準をお互いに引き上げることを誓い合って散会しました。

きょうも楽しく、笑顔いっぱい！ ますます大きな声を出し続けよう、「憲法9条を手放さないぞ！」と。

去る3月9日（日）、折尾9条の会の第4回総会を開催しました。雨模様の悪天候の中41名の方々の参加をいただき盛会のうちに終了することが出来ました。日曜日の午後、お忙しい中をご参加下さいました皆様、本当に有難うございました。

総会は、「歌声9条の会」のみなさんによる歌唱指導により、「9条で3×3（SUN SUN SUN）」、「花」を歌って、和やかな雰囲気の中で開会しました。また竹下代表の挨拶の中にあつた俳優の加藤剛さんのことば（テレビ番組で「未来に望むことは」と問われて『戦争のない世界』を目指して、私たちは今、頑張っているし、これからも力を尽そうと心の中で誓い合つての開会でした。

「本城・赤坂9条の会」の山本事務局長の来賓挨拶の後、さっそく講演に入りました。

講師の三輪俊和健和会看護学院院長（元北九州大学経済学部長）は、事前に用意された100枚近い電気紙芝居を駆使して1時間余り精力的にお話をされました。三輪先生の明るさと「憲法9条を何がなんでも守ろう」という炎ゆる情熱に会場がました。高齢化の進む事務局にとって若い力はとても大きな励みになります。

三輪先生は、江戸時代から話しを起こされ、日本が江戸時代300年の鎖国政策を続ける中、西欧では産業革命や市民革命が起こり、労働者が団結して国を動かす主役になっていった。一方日本では、ようやく徳川幕府を倒して新しい世の中を作ったのは下級武士集団だったし、1889年に大日本帝国憲法が公布され、天皇を神とし、国民を臣民として命令・規制する仕組みをつくり上げ、戦争遂行のために利用した。明治維新から太平洋戦争終結までの間、教育において天皇のためならば命を捧げてでも惜しくないという国民をつくり戦



挨拶する竹下秀俊代表。左は、講演を待つ三輪俊和氏

圧倒された1時間余でした。

総会終了後、若い女性会員が、「今日は、憲法9条のことがとてもよく解りました。参加して良かった。」とおっしゃってください、さっそく去る14日の街頭署名活動にも応援に来てください争に駆りだした。その行きついた先は、日本人300万人、アジアの人々2000万人の累累とした死屍だった。この犠牲の上に出来たのが平和憲法といわれる日本国憲法である。

戦争が終って、天皇神から開放された日本人は、「二度と戦争しない」という意思を自ら表明する権利を得た。この時の喜びは言葉で言い尽くせないものであり、その気持ちは今を生きる私たちもしっかり受け継いでいる。

しかし戦後間もなく自衛隊ができ、年々軍備は拡張され、今や軍事力は世界2位にまでなっている。「アメリカと共に戦争を！」という勢力が、見えないところで伸びている。私たちは一度手に

した平和を手放すわけには、従って憲法9条を守り通さなくてはならない。これは平和を望む国民にとっての「基本的人権」である。

私たちの絶え間ない努力によって守りきらな

くてはならない。

会員の皆さん、きょうも楽しく、笑顔いっぱいの活動をしようではありませんか。

3月2日、好評のうちに終了。「やさしい憲法の話」

——小倉南区西部地域九条の会——

電気紙芝居付き「やさしい憲法のお話し」は、当会では予想を上回る48名の参加で好評のうちに終わりました。

講師の三輪俊和先生は、明治憲法時代、日本は戦争に次ぐ戦争、第2次世界大戦では、アジアだけで3200万人を殺害、日本人の犠牲も310万人、その半生の上に「戦争放棄と恒久平和」の憲法が誕生したことからはじまり、その後のアメリカ戦略の移り変わり（1947年）、安保闘争（1960年）、政府の解釈改憲、高度経済成長時代（1960年代前後）を経て今や新自由主義の時代。例えば、ビル・ゲイツ1人で6兆円の所得、これは8億人を超す世界難民1200万人分の所得と同じという。日本では資本金10億円以上の大企業（0.22%・5671社）（小企業2,626,954社）が売上高の38%、純利益68%。日本の国民総所得500兆円、北朝鮮は2兆円、軍事費5兆円、トヨタ1社で利益2兆円など具体的数字をあげて説明。アメリカの先制的自衛攻撃はアフガン・イラクでも孤立しつつある（当初の39カ国派兵が現在では20カ国を切ろうとしている）。



世界は変わりつつある。東アジア共同体構想は「戦争をしない。平和と協力、対話による解決」を目指している（フランスも加入）。日本の平和憲法は今こそ輝きを増している。だが、これを維持するのは、国民の不断の努力が必要（憲法12条）。最後にカミエルの「青春」「今日も楽しく笑顔いっぱい、世界はひとつ」で2時間では足りない位の「おはなし」を締めくくった。（文責：事務局長清水隆）

市役所女性9条の会「春をよぶつどい」

——おしゃれを楽しむことも平和だからこそ——

2007年10月に発足した「北九州市役所女性9条の会」は、元気で楽しい活動を通じて9条を守る輪を広げようと取り組んでいます。2月22日18時から、80人が集まり、「春をよぶつどい」を開催しました。

第一部は、おしゃれを楽しむことも平和だからこそできることということで「ファッションショー」を催しました。衣装は古布を現代的にアレンジしたドレスやコート等。そして、モデルは市職労の仲間達です。初めての試みでしたが、皆の知恵を集めてなんとか本番





にこぎつけました。スポットライトを浴び、すっかりモデルになりきった美しい仲間の姿に「わあ〜」と会場から感嘆の声。衣装も一流ですが、モデルもなかなかのものでした。ショーの後、製作者の野田先生があいさつの中で、「針仕事は心が癒されるが、母は戦時中千人針を山のように縫わされ、そんな心を持つことはなかった、戦争を二度と繰り返してはならない」と、たいへん印象深いお話をしてくださり、参加者全員うなづきながら聞いていました。

第二部は、知は力ということで、北九州第一法律事務所の高木佳世子先生による「人間らしく生きることと憲法9条」という講演で学習しました。先生のご専門は25条ですが、「軍事に力を入れる国は社会保障が手薄くなり、平和を大切にすると国は社会保障も充実できる、日本も平和を守ることは社会保障を充実させることに結びつく」との話に納得しました。

今後も、このようなたのしい、企画に取り組んで、9条を守る輪を広げたいと思います。

(市役所女性9条の会真島裕子事務局長)

私たちの手で国会請願を！

八幡東九条の会では昨年末より『一度自分たちの手で国会請願をしてはどうか、皆さんから寄せられた署名を直接国会に届けたい、実際に請願権の行使を経験することで勉強にもなる』と論議をしてきました。

そして2月27日の世話人事務局会議で5月末予定の請願が正式決定されました。会にとっては初めての経験で手さぐりの中、自治労連福岡県本部書記長、仁比聡平参議院議員国会秘書（共産党）、小沢一秋さん、元国会議員秘書、会員のつてによる重野安正衆議院議員（社民党）のお姉さまなどのアドバイスや御協力をいただきながら準備を進めています。

現在全党派の地元有缘がある国会議員に国会請願紹介議員の依頼文書を送付しています。また一人でも多くの方の署名を届けたいと署名集めにも力をいれています。

カンパ、メッセージありがとうございました。
引き続き皆様のご支援をお願いします。

カンパ1月 佐多道人 勝野禎二 有馬正人 土井義博 鋤塚聡子 石橋真智子 江口佳郎 江口道子 勝木多美 古賀三千人 **カンパ2月** 小野恂一郎 小野文子 前野宗俊 松井岩美 松井玲子 小沢和秋 佐藤幹雄 安達恵美子 渡辺末子 松涛秀道 三輪俊和 三輪幸子 高見淑子 島内弥七 勝元紀 浦野昂 高智彦 萩原潤子 戸上省二 米田禎夫 近藤春代 佐藤充則 丹下徹 野瀬秀洋 小泉孝 手塚常生 玉井史太郎 多加喜悦男 樋口コスエ 江藤恭子 荒牧啓一 **カンパ3月** 野瀬秀洋 丹下徹 安藤昭雄 佐多道人

メッセージ カンパです 1/30 K.T ●戦争を皆が止める国にして下さい 1/30 A.M ●全体状況の分るニュースを適時送っていただきますので、“9条の会”の広がっているのに確信を強めています。それにしても我が足元の努力はどうかと、反省しています。1/31 K.M ●おげんきさまです！ 1/31 K.S ●また、わずかですが送ります。共にかんぱりましょう。2/1 O.K ●カンパ 2/5/ S.Y ●いつもお便りいただきながらご無沙汰ばかりいたしまして、相すみません。カンパわずかですが今後ともよろしく願いいたします。2/8 H.J ●知人が9条の会にいましたので次回から知人に資料を貰います。お手数をおかけしました。2/12 K.H ●「南京は屍の山」と書き残す父の手紙読む七十年を経て———1937年12月に起きた南京事件から70年です。九条が輝きます。2/13 T.F